

し ゃ き ょ う

社 協 かみかわ

No.81

2019年4月発行

～地域福祉の情報紙～

主な記事

- 2～3ページ 生活支援協議体推進フォーラムinかみかわ
- 4ページ みんなで子育てはじめての一步
- 5ページ まちの子育てひろば
- 6ページ 食事からフレイル予防 TSU・NA・GU^①
- 7ページ 社協からのお知らせ
- 8ページ 感謝のお知らせ かみかわペンリレー^④



表紙より

みんなで子育て はじめての一步
楽しく！ リトミックの様子

(関連記事 4P)

4・5 月号

編集発行 社会福祉法人
神河町社会福祉協議会

第1回生活支援協議体推進フォーラム in かみかわ 『広げよう！ わたえ愛つながり愛』開催

協議体及び見守り支え合いの地域づくりの普及啓発を目的に、公益財団法人さわやか福祉財団の翁川（おいかわ）由希氏を講師に招き、フォーラムを開催しました。



公益財団法人さわやか福祉財団 翁川 由希氏

最初に、健康福祉課から、地域包括ケアシステムの構築に向けて行政や専門職が取り組んでいること、そして地域での取り組みの現状の報告があり、その後、翁川氏より『広げよう！ さえ愛 つながり愛』『参加』の力が生み出す素敵な世界』と題した講演がありました。講演では、生活支援体制整備事業が生まれた背景として、人口減少と認知症高齢者や一人暮らし高齢者の増加、元気で長生きのために

社会参加による介護予防が大切であること、協議体の目的と生活支援コーディネーターの役割等の話があり、「10年後、20年後、自分が安心して暮らせる地域にするために、今自分に何ができるかを考えていきましょう。」と締めくくられました。

後半のパネルディスカッションでは、生活支援コーディネーターが神河町の協議体の現状と進め方について報告した後、実際に動き出している協議体の中から本村区、大山區、越知區に実践報告をしていたきました。

パネルディスカッション

3集落の取り組み

●本村優心会（本村区協議体）

『集落の資源や課題を出し合った後、支援してほしい事、支援できる

事の住民アンケートを実施。課題に対して担い手を組織化し、助け合い活動を進めています。希望の多かった集い場づくりでは『本村べつちよない会』がスタートし、公民館に健康器具やゲームを持ち寄って活用したり、手仕事や体操等をしたりして、楽しい時間を過ごされています。また、お買い物ツアーや粗大ごみの運搬や草刈り草引き活動も始まっています。』



（本村）佐古 正雄氏



● 大山区協議体

『人暮らしの男性が自宅で倒れているのを発見し救急車を呼んだが「名前はわかるけど、生年月日や病歴を聞かれてもわからない。親戚の連絡先もわからない。」という経験をきっかけに「救命・救急安心カプセル」の全戸配布に取り組みました。協議体メンバーには子ども会や消防団も入っておられ、10年後、いや50年後も見据えた話し合いが続いています。』



(大山) 松田 廣士氏

● 越知区協議体

『定期的な話し合いを重ねる中で出てきた課題に対して、お試して移動力フェを開いたり、視察研修を行なってきました。話し合いの中から、地域おこしグループと営農組合の連携が生まれ、収穫祭の開催

に繋がりました。この収穫祭は、地域の高齢者の活躍の場としても期待でき、今後も定期開催が決まっています。また、健康を切り口にした集い場づくりも模索中です。』



(越知) 一宮 大祐氏

今回のフォーラムでは伝えたいことをたくさん詰め込んでしまい、時間がオーバーしてしまい申し訳ありませんでした。このフォーラムをきっかけに『元気で長生き』『お互いさまの助け合い』についての関心が高まることを期待しています。



参加者の声(アンケートから)

- 「今後の取り組みの参考になりました。越知のイベントを見てみたいと思いました。」
- 「事例発表の内容が多様で、地域の特性に応じた協議体ができている事を知る事ができた。」
- 「協議体活動は、今後もっと望まれると思います。また地域全体で意欲をもつて取り組めることが大切だと思いました。」
- 「家から二歩出ることの大切さ、たくさんの人との出会い、話し合い、とても大切な事だと思えます。外へ出てほしいです。でも出なくても出られない人もいます。家の中に一人であることが好きな人もいます。出ることの苦手な人もいます。」
- 「参加年齢が高く、若い世代にはあまり関心がないと感じる。幅広い世代で協力しないと長続きしないのでは…」
- 「パネルディスカッションの時間が足りなかった。各区の取り組みについて、もっと詳しく聞きたかった。」

●「協議体の必要性は感じるが、進め方がわからない。みんなの理解を得るのを、まずどうするのか。」

●「内容が難しい部分が多々ある。地域で行われていることは参考になった。」

●「各区の活動状況がわかりやすく説明があり、大変参考になった。」

Q 助け合い活動中の交通事故についての対応

A 助け合い活動中の交通事故の場合でも、事故をした車両が加入している保険で対応することになります。上乗せとして、「兵庫県移送サービス交通傷害保険」に加入することもできます。また、利用される方(車に乗せてもらう方)と事故があつた際の対処についての誓約書を交わす、運転する人が安全運転講習を受講する等が考えられます。事故を起こさないことが第一ですが、助け合いの活動であることを関係者が充分理解して実施することが大切です。

～みんなで子育て はじめての一步～

3月16日(土)、きらきら館において
『みんなで子育てはじめての一步』を開催しました。
当日は22組の親子と地域の方7名の参加がありました。



親子リフレ
楽しく！ リトミック

第1部は、リフレセラピストの衣笠マナミ先生を招き、親子リフレを行いました。

カエルになって『エンピョエンピョ』、へびになって『よる』による。楽しい音楽に合わせて親子で一緒に身体を動かし、会場には笑顔がたくさん溢れました。『お掃除ラプソディー』の『ミカルな動き』には会場の皆さんも大爆笑！笑いの絶えない楽しい時間になりました。



◀楽しく！
リトミックの様子

大人気の
「お掃除ラプソディ」▶



講演

『地域で子育て孫育て』



▲西本寛先生による講演会

第2部は、『地域で子育て孫育て』と題し、ケアステーションかんざき西本寛所長による子育て講演会を行いました。

「誰にでも子どもの頃がある。自分が子どもだった頃を思い出してみても、子どもの力を信じて、ちよつとくらの失敗なら経験させてみよう。子ども達はいろんなことにチャレンジする。うまくいなくて落ち込んで、お父さんお母さんの所で元気をチャージしてまたチャレンジする。」など、子育てのヒントがたくさんちりばめられたお話でした。神河のたからもの達の健やかな成長を、家族も地域も一緒に応援しましょう！

参加者の声(アンケートから)

・「リトミックも楽しく、講演会もとてもなるお話でした。正解がない子育てを、これからも手探りでやっていくので、こういう講習会などがあれば参加したいです。」
・「我が家流の子育てでいいと聞けてよかったです。講演会を聞いて涙が出てきました。思い当たるところがあつたのだと思います。リトミックで心と体をほぐせて、子育てのいいお話を聞くことができ、とても充実した日になりました。」
・「講演会では改めて自分の子育てを振り返ることができました。やってはいけない事などしてしまっていたなあ…と思うことも多く、人と比べるのではなく、ありのままの子どもの個性を大切にこれから愛していきたいと思います。」

当日展示していたまちの子育てひろばのパネルは、きらきら館・神崎支庁舎に順次展示しています。ぜひご覧ください。

まちの子育てひろば



ご存知ですか？ まちの子育てひろば

保育園、保育所、幼稚園に入る前のお子様と保護者が気軽に集い、仲間づくりをするのが『まちの子育てひろば』です。

神河町には次の『まちの子育てひろば』が開設されています。

ひろば名	内 容	連 絡 先
越知谷幼稚園 げんきクラブ	在園児との遊び タ涼み会 プール遊び 交流ミニ運動会 芋掘り クリスマス会 など	越知谷幼稚園 ☎ 33-0047
神崎幼稚園 にこにこくらぶ		神崎幼稚園 ☎ 32-1790
寺前幼稚園 ひまわりくらぶ		寺前幼稚園 ☎ 34-0724
神崎保育園 わくわく広場	七夕まつり タ涼み会 クリスマス会 園庭開放 など	神崎保育園 ☎ 32-0284
寺前保育所 カフェてらまえ	親子遊び 育児相談 茶話会 園庭開放 など	寺前保育所 ☎ 34-1538
おはなしなあに？	絵本の読み聞かせ クリスマス会 わらべ歌遊び など	きらきら館 ☎ 32-2410
はだしっ子	さんぽ 野菜作り ものづくり 野外遊び など	神河町社協 ☎ 32-2303
おひさま (神河町子育て学習事業)	季節の遊び 地域の人との交流 体操教室 など	きらきら館 ☎ 32-2410

※年度当初に登録が必要なひろばもあります。
※実施日や場所等は、各ひろばへお問い合わせください。



ミニデイ対抗 社協スポーツ杯の結果発表



4月から12月の間に各地区ミニデイで取り組んでいた「社協スポーツ杯」の上位入賞地区を発表します。「ポケットボール」「輪投げ」「的入れ」の3種目の平均点の合計で順位が決まり、6地区のミニデイの参加がありました。参加された皆さんは、どうすれば高得点になるか作戦を練りながら取り組んでくださいました。

順位	地 区
1位	杉ミニデイ
2位	宮野ミニデイ
3位	栗賀町ミニデイ

優勝した杉ミニデイの皆さんには、トロフィーと記念品をお贈りいたしました。来年度の栄冠はこのミニデイに？参加をお待ちしています。

『善意銀行地域づくり助成事業』終了のお知らせ

平成22年度より、集落内での地域福祉を進める取り組み等に対して、善意銀行を財源とした上限5万円の助成事業を続けてきましたが、今年度で10年が経過し事業財源も考慮した結果、平成31年度末でこの事業を終了することになりました。

これまでこの助成を受けてない集落で、地域の集い場で活用する備品や災害時等の器具整備を検討されている場合は、社協までご相談ください。

元気に
長生きしよう!

食事からフレイル予防



まぐろのたたき丼 (2人分)

- ① 丼にご飯を盛り、まぐろのたたきを鉢に広げ、その上にとろろを円を描くようにかけます。
- ② ①の中央に温泉卵をのせます。
- ③ (A)の合わせたたれを好みで適量かけます。
- ④ お好みでわさび、きざみのり、きざみねぎをのせて完成です。



・ご飯	2人分
・まぐろのたたき	1パック
・とろろ	適量
・温泉卵	2個
・わさび	適量
・きざみのり	適量
・きざみねぎ	適量
たれ(A)	
・醤油	大1 1/2
・みりん	大1
・酒	大1

まぐろは頭の働きを良くする「DHA」、動脈硬化を防ぐ「EPA」「タウリン」、貧血を予防する「鉄分」、良質のたんぱく質、ビタミン、ミネラルを豊富に含んだ健康食であり、まぐろのたたきは嚥下訓練食として使用されているものでとても食べやすい食品です。

また卵はビタミンC以外の栄養素をすべて含んでいる優秀な食品で体内への吸収率も半熟(温泉卵)だと96%になります。一時期はコレステロールを多く含む食品として敬遠されていましたが、卵黄に含まれているレシチンに血中コレステロールを溶かす働きがあるので、一日一個ぐらいであればあまり心配はありません。またレシチンは脳などの血管障害を防ぎ認知症予防にも効果があると言われています。良質のたんぱく質を多く含み簡単に作れて食べやすい筋活ご飯としてオススメの一品です。

TSU・NA・GU①7

〈あなたのそのサロンに参加しますか?〉

ある調査で、サロンのボランティアに「あなたは年齢をとったらそのサロンに参加しますか?」と質問したところ、半数以上の人が「NO」と答えられたそうです。なぜなら「お世話はしてあげたいけど、お世話されるのはイヤだから」。人の役に立ち喜んでもらうのはうれしいけれど、人にお世話されるのは気兼ねがあるのかもしれない。

ほとんどの人が、家族や馴染みの人とともに穏やかに生きる老後を夢見て、そして出来ることなら「ピンピンコロリ」を望んでいます。しかし、それはなかなか難しい。誰もが平等に一年にひとつ年齢をとり、だんだんと周りの人の支えや手助けが必要になっていきます。いつそうなるかは人によって違いますが、いずれは誰かのお世話になる日が来るのです。遠慮を取り払い、「助けて」「手伝って」と気兼ねなく言い合える関係性が地域の中にあれば暮らしやすいと思いませんか? そのためには、助けられ上手になることも必要です。

そして、うれしいことに困っている人を助けたい気持ちを持っている人は地域の中にたくさんおられます。出来る時に出来る人が出来る事をやる。「助けたい」と「助けてほしい」をうまく繋ぎ、誰もが暮らしやすい地域にしていきたいですね。



社協からのご案内

社協ボランティアセンターから 助成金のお知らせ

様々な分野でボランティア活動が行われている皆様
これからも充実した活動が展開できるよう、今年度もボ
ランティア活動助成を次のとおり行います。

また、新たにボランティア活動を始めようと思われているグループや個人の方へも助成いたしますので、ぜひご活用ください。なお、助成金の財源は、皆様から頂く善意銀行となっています。

◆助成の対象

- ・町内および近隣市町において自主的かつ継続的なボ
ランティア活動を年3回以上行っているグループまた
は個人

◆助成金額

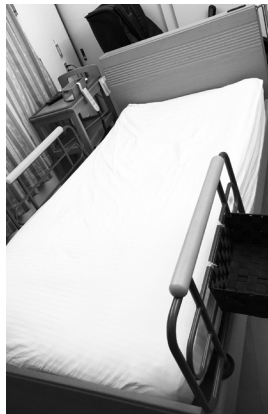
- ・グループ 上限3万円(新規立ち上げの場合は5万円)
- ・個人 上限1万円

◆助成対象となる経費

ボランティア活動にかかるものに限ります。会員内の懇
親費は対象外です。

◆申請と決定

- ・申請用紙は窓口、もしくはホームページより入手して
いただき、5月24日までに社協へご提出ください。社協
で審査の後、6月下旬に交付いたします。



お譲りします！

町内の方から預託のあった「電動ベッ
ド」を、必要な方に譲渡します。

お問い合わせは、社会福祉協議会へ

☎321-23003

※複数の方から希望があった場合は、社協で使
用される方の状況等をお伺いした上で譲渡先
を判断いたしますのでご了承ください。

4月から
変わります！

心配ごと相談のご案内

暮らしの安心相談

＜偶数月の第4水曜日に定期開設＞

●開設時間／13時30分～16時受付

―4月は、生活・行政・人権相談―

31年度より心配ごと相談事業を「暮らしの安心相談」と「法律相談」に再編しました。偶数月は、月毎に相談テーマを設定した中で行政・人権相談を含めた「暮らしの安心相談」、奇数月は「法律相談」を毎月第4水曜日、主に神崎支庁舎において開催します。

※暮らしの安心相談では、4月は生活相談、6月は介護相談、8月は相続相談、12月は就職相談を専門の相談員が応じます。

法律相談

＜奇数月の第4水曜日＞

●開設時間／13時30分～16時30分

相続や金銭問題などのトラブルを解決するために弁護士が相談に応じます。相談時間は1人30分です。

経済的な困窮や就労に対する不安等生活上の悩みについて、労働センター事業団(ワーカーズコープ)相談支援員、社協職員が相談に応じます。また、県や役場の行政サービス、施策に関する苦情、要望や各種制度の仕組み、申請窓口に関する問い合わせなどの相談を受け、その解決のための助言や関係行政機関に対して通知し問題の改善を行う行政相談委員と、差別や不当な扱いを受けているなど、大切な人権の侵害があった場合に、法務局などを通じて適切な処置を講じ救済を図る人権擁護委員が、行政や人権に関する身近な問題について相談に応じます。相談時間は、概ね1人30分です。

■法律相談

開設日	会 場	相談員
5月22日	神崎支庁舎	兵庫県弁護士会 派遣弁護士

■暮らしの安心相談

開設日	会 場	相談員
4月24日	神崎支庁舎	ワーカーズコープ相談支援員 社協職員 高内三千男(行政相談委員) 岡部久美代(人権擁護委員)

※法律相談は予約制です。前日までにご予約ください。 ※事前予約は必要ありません。

※皆様から頂く会費や赤い羽根共同募金を財源に実施しています。
福祉に関する相談は、社協窓口でも職員が常時対応しています。

感謝のお知らせ

(1月18日～3月17日) (敬称略・受付順)

【善意銀行】ありがとうございます

氏名	地区	内容	一言コメント
匿名		福祉のために	元気に白寿、感謝
太田翔騎	柏尾	供養として	
坂田喜代美	東柏尾	供養として	たいへんお世話になり、心から感謝いたします。ありがとうございました。
稲川良明	大畑	供養として	
竹内典子	栗賀町	供養として	お世話になり、ありがとうございました。
宮本政幸	吉富	供養として	
中島信重	根宇野	供養として	お世話になり、ありがとうございました。
辻井昭也	加納	供養として	
匿名		供養として	
加門久雄	宮野	供養として	大変お世話になりました。
高木恵輔	大畑	供養として	大変お世話になりました。
山田均	大河	供養として	お世話になりました。
匿名		供養として	
本田隆亮	栗賀町	供養として	お世話になりました。ありがとう。
竹内敏男	東柏尾	供養として	
前川幸一	吉富	供養として	お世話になりました。
合 計			610,000円

善意銀行の預託金は、町内小中学校・高校の福祉教育活動やボランティアの助成金、高齢者などへの給食サービスの材料代、地域づくり助成金などに使われています。

家族みんなで挑戦!! しゃきょうクイズ

応募先 〒679-2414 神河町栗賀町630
神河町社協「クイズ係」
Eメール k-syakyo@kcni.ne.jp

応募締め切り 5月10日(金)

2019年5月1日午前0時、いよいよ元号が改められますね。今回は元号についてのクイズです。知っている人は記憶を呼び起こして! 知らない人は調べてみてね!

- ①昭和元年と昭和64年、日数が短いのはどっち?
ア 昭和元年 イ 昭和64年 ウ 同じ
- ②元号「平成」を発表して「平成おじさん」と呼ばれた、当時の内閣官房長官は?
ア 竹下 登 イ 加藤紘一
ウ 福田康夫 エ 小淵恵三

答えのわかった方は、1.問題の答え 2.住所 3.氏名 4.社協かみかわの感想や社協への意見などをお書きの上、ハガキまたはEメールでご応募ください。抽選でクオカードをプレゼントいたします。

前号の答え ①リニアモーターカー ②月の石
◎当選者 浦上 文代さん(高朝田)

【物品収集】《古切手・ベルマーク・書き損じハガキ・未使用切手》

役場建設課	本田ふさ系	(高朝田)
はにおか運動公園	仲井美江子	(山 田)
松本孝子	(高朝田)	きらきら館
しあわせのひなた	(猪 篠)	子育て学習センターおひさま
石堂明美	(鍛 治)	神崎中学校卒業生有志
足立洋子	(市川町)	岡本須美子 (柏 尾)
黒田大貴	(栗)	(株)トランキーロ (宮 野)
役場税務課	匿名4件	

【物品預託】ありがとうございます

太田翔騎 (柏 尾) エンシュアリキッド
匿名 男性用下着
やまひろ洋品店 (寺 前) ジョーバ(健康器具)
匿名3件 スカンボの杖
介護用品・女性用衣類



かみかわペンリレー 44人目



町内の皆さんを一つの輪で
つなげます。
〈前号の野村俊介さん(吉富)
からの紹介〉
きりづきふみのり
桐月文徳さん
(吉富)



質問:自身の性格を分析してみると……

答え:ポジティブで社会的でありながら、頑固で繊細で
シャイ…変わり者!!

質問:人にちょっと自慢できることを教えてください

答え:沢山の人との出会い!!

質問:あなたが思う神河町のいいところを教えてください

答え:自然・空気・人と人の繋がり、街との適度な距離感。

質問:将来の夢は何ですか?

答え:皆と健康で笑って過ごすこと。

質問:あなたが今、夢中になっていることはどんなこと?

答え:仕事、商工会青年部、消防団活動、ゴルフ…親と仲良くすること…婚活。

質問:これまでの人生の中で、一番思い出に残る出来事は?

答え:大好きで、一番お世話になったおばあちゃんとの別れ。

質問:もし何でもかなう魔法があれば、何を願いますか?

答え:ドラえもんや友達(親友)になりたい。多種多様なひみつ道具でいろんなことを体験してみたい!

質問:神河町のみなさまへのメッセージをどうぞ!

答え:いつもありがとうございます。出会いに感謝しています。これからもよろしくお願いします。

野村さんから桐月さんにメッセージ

現在同じ隣保でお世話になってます。バトン快く受け取ってもらって感謝してますー。また飲みましょう!